

## 埼玉県立深谷商業高校記念館

深谷市原郷80

大正11年に建設された埼玉県立深谷商業高等学校の旧校舎。「二層楼」と呼ばれるこちらの校舎は、平成12年に国登録有形文化財の指定を受けています。



### ここに注目！ 3つのポイント



①上下窓(あげさげまど)  
懐かしい上下窓です。今でも普通に開け閉めすることが出来ます。当初のガラスが残っている部分もあります。

②屋根の内部  
改修工事により、2階中央でとがり屋根の中を真下から見られるようになりました。中央には複数の名前が記されたプレートが付いています。



③階段の手すり  
よく見ると手すりが大きく右に傾いています。これも歴史ある建築物ならではのですね。

### 他にも…



もともとの記念館は、校舎として使われていました。

1階も2階も、端から端まで長い廊下が続きます。

実はこの校舎には引き戸がありません！

外と内と色が違うのもいいですね。ドア以外も、廊下は茶系の色で統一され、教室は萌黄色や緑で統一されています。



古い門柱です。当初あった正門から移してきたそうです。

レンガの名産地である深谷らしい門柱ですね。

どこか懐かしい雰囲気の下駄箱です。

このタイプのは、あまり見かけなくなっていました。



### 校長室にも潜入!



机の上もとっても  
レトロ。



照明もお洒落♪



### たくさんの方々の協力によって出来た深商!



2階中央ホールにある掛時計。

多くの方々の協力によって、大正10年に現在のSEIKOである精工舎製の掛時計が寄贈されました。

なんと!!!  
修理によって、今でもなお時を刻んでいます。



校長室に入って左手に奉安所があります。

奉安所とは、戦前の日本において天皇と皇居の写真(御真影)と教育勅語を納めていた所です。

この扉は「商」という字をモチーフにしたものなんだとか。

御真影を見ることはできませんが、扉を開けた状態で見学することができます。



深谷出身である日本経済の父・渋沢栄一も深商の創設に関わっていたそうです。



渋沢栄一が二層楼を訪れた際に残した書です。



「至誠」と「士魂商才」という言葉はどちらも深商の校訓となっており、現在も渋沢栄一の教えが受け継がれています。



平成23～25年に行われた改修前のジオラマです。

白い外壁に赤い屋根窓がついていました。



ものづくり大学横山研究室によるコンピュータ解析の結果、創建当初の色が判明し、この度の改修で、外壁は萌黄色(もえぎいろ)、窓枠は鮮やかな緑色、屋根窓は深緑によみがえりました。

**大正ロマンを感じさせる二階楼はドラマや映画のロケ地としても使われています。**



2015年9月 訪問  
埼玉モダンたてももの学生レポーター  
日本女子大学文学部 竹田いぶき